

林業アカデミー

ふくしま経済

研修施設が完成

林業特化は県内初 郡山で式典

県が運営する林業人材育成拠点「林業アカデミーふくしま」の研修施設が完成した。林業に特化した研修施設は県内初で、より実践的な学びを研修生に提供する。8日、郡山市の施設で記念式典が行われた。

施設は実習棟と研修棟の二棟。ともに木造平屋で、延べ床面積は両棟合わせて約千三百二十五平方メートル。壁や机などに県産木材をふんだんに使っている。実習棟は天井の部材が三角形につき合

わせてあり、広々とした構造が特徴。実習用の機械では、研修生が現場に出る前に枝払いや伐倒などを体験できる。建物前では、バックホーなど大型重機の操作練習が可能だ。

研修棟には講義室や図書館などを備える。木の伐倒から集積までを行う重機「ハーベスタ」の操作を学んでもらうため、全国で初めて、搭乗型で仮想現実（VR）機能が付いたシミュレーターを導入した。測量データなどを解析するOAルームもある。

玄関ロビーには、昨年の東京五輪・パラリンピックの選手村で使われた県産木材を活用



天井構造が独特な実習棟で行われた記念式典

したシンボルツリーが飾られている。式典は実習棟で行われ、内堀雅雄知事が「福島の林業の未来を切り開く新たな担い手が立



研修棟で、高性能林業機械の操作練習装置を視察する内堀知事（左）ら

派に巣立てるよう運営し、研修生が機械を使い取り組む」とあいさつした。内堀知事ら関係者がテープカット会が開かれた。